

お客様各位

2021年3月29日
パスロジ株式会社

TLS 通信の暗号化方式に関する注意喚起

皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、弊社の製品をご愛顧いただきましてまことに有難うございます。

TLS 1.0 および TLS 1.1 などの特定バージョンの暗号化方式において、各メーカーのブラウザでのサポートが終了となる他、IPA（独立行政法人 情報処理推進機構）などの各セキュリティ団体から非推奨とすることがアナウンスされております。

また、IPA からは、「TLS 暗号設定ガイドライン」が公開されており、具体的な推奨設定をご確認いただくことができます。

■ TLS 暗号設定ガイドライン

https://www.ipa.go.jp/security/vuln/ssl_crypt_config.html

※ RHEL8 からは TLS1.3 が利用可能になりましたが、PassLogic の一部機能が対応していないため、TLS1.3 については非サポートになります。

PassLogic を安心してご利用いただくためにも、これらの公開情報をご参考いただき、定期的に暗号化通信の設定を見直していただくようお願いいたします。

なお、通信の暗号化は、サーバーOS である Red Hat Enterprise Linux が提供する機能となりますので、具体的な設定方法については、レッドハット社が提供するサポートサービスなど適切な窓口にご相談ください。

※ PassLogic サーバーへ暗号化方式の設定を反映するにあたり、httpd の再起動が必要になります。これに伴い PassLogic のサービスが瞬断しますので、メンテナンスタイムを設けて実施いただくことをお勧めします。

以上

（本件に関するお問い合わせ窓口）

パスロジ株式会社

営業部 担当：山口

E-Mail : sales@passlogy.com

TEL : 03-5283-2263

URL : <https://www.passlogy.com/>

■ PassLogic 製品サイト

<https://passlogic.jp>

▼製品サポートページ

https://passlogic.jp/ent_support/